

【女王蜂短歌アンソロジー】

有志二十二名による女王蜂から着想を得た短歌
総数八十八首を収録。連作タイトルの下♪マーク
には作者がこれはぜひ聞いてほしいという曲名も載せ
ています。女王蜂が好きな人も、聞いたことのない人
もぜひこのおすすめの曲とともに作品をお楽しみ
いただけたら、と思っています。

a個

市井すい
佐藤橙
外村ぽこ

はゆき咲くら
城本苔
とかげまろう
寿司村マイク
あきの つき
小石岡なつ海
水の眠り

ケムニマキコ
淡島けのび
水野ヒナ
小渕紗世
森崎とわ
浅井にいち
インアン
マミヤミレイ
吉田岬
人魚の呪い
匂宮薰

蜂十蜂

二〇二五年四月二十一日
発行

发行人 吉田岬
デザイン はるかぜ





そして今 淡島けのび

『緊急事態

振り返り広がる海の煌めきは棘の幻 お眠りなさい

抱きついたダイヤモンドを食べたいわ引き返さない失楽園へ

大丈夫あなたは何も知らないで水は流れる名もなき体温

Question ティアラを浮かべとふ羽音 憧れを噛むQueen Bee



サイレンと同じリズムでなる胸がバレそうで痛くて壊れそう

華やかなえまーじえんしー 横にまで血管が波打つ脣休み

制服のままのあなたが好きなので黒板消し汚いまま消して

正常にsomething is better than nothing やだ走り切ります

pairwise 小石岡なつ海

『FLAT

紫炎 水野ヒナ

『鉄壁

投げられたあなたの賽で仕留めたく宙でもつれて笛をいざなう

Rhapsody ながくふたりでいたうえで交換日記以外横顔

Serenade 真實なんて問わないで呼気が鼓膜を焼き切る歌の

抱き寄せるトップノートに鉄があり纖維に沿つて裂かれる幻視

パッケージ 水の眠り 『 DANCE DANCE DANCE

いつかゆく 小渕紗世

『狂詩曲

臨月にむけて進化をする卵産まれる意思が滑走をする

オクターブ高く天女の薄衣重低音のリズム正しく

秘めやかな宿痾のごとき拘りもママのケシトも蹴り飛ばしていい

透明にわたしをつづむパッケージ ナマモノワレモノといへでも行く

かなしみも怒りもなべて鮮血であたしその血で生まれてきたの

【ボニーとクライドはともに死んだけれど】

君はいなし ミントを噛めばさみしくて夜が明ければサイレンが来る

茫洋とあなたの声の蘇るとき何度も立つ春霞

いつかゆく地底の花野 一輪の花があたしの灯心になる

Ceremony, Cemetery ケムニマキコ 『 回春

熱殺蜂球 森崎とわ

『火炎

奪うこと奪われること雪みたい燃やせるゴミの中に白百合

光輪を外した指をからませて想像よりも明るい堕天使

融点を超えて踊り続けるの 鉄の匂いのするオルゴール

目覚めたら、さあ何ひとつ赦す気はない あの鐘を燃やすのはあなた

一万多度(dance)(震撼)(pyro)(絶頂)どうせ生きてても死んでも地獄

生きること肯定してよ美しい八重歯で傾かずメフィストフェレス

次こそは蜂になろうかマジエスティどんな蜜でも持つてくるから

